

■ 支 部 だ よ り ■	
---------------	--

## 関東・甲信・静支部のうごき

### 1. 支部役員会

平成18年8月28日(火)、さいたま市(埼玉県男女共同参画推進センター)において、支部役員6名が出席し、支部長表彰被表彰者の選考等を行った。

### 2. 支部総会

平成18年9月20日(水)、新宿区(東京都庁舎会議室)において、15機関26名の出席者により開催した。会議の概要は次のとおりである。

#### (1) 議決事項

・平成17年度、18年度の運営及び事業について

#### (2) 報告事項

・平成19年度の役員・総会等の開催地について  
・全国環境研協議会会長表彰の支部推薦について

#### (3) 専門部会事業報告

#### (4) 支部長表彰式

支部として次の5名を表彰した。

- 平間幸雄 (千葉県環境研究センター)
- 斉藤和久 (神奈川県環境科学センター)
- 岡崎幸司 (静岡県環境衛生科学研究所)
- 前田裕行 (横浜市環境科学研究所)
- 千田千代子 (川崎市公害研究所)

### 3. 大気専門部会(千葉県環境保健研究所)

平成18年9月29日(金)、千葉市(ホテルポートちば)において、15機関30名の出席により、以下の研究発表を行った。

- 1) 道路沿道周辺におけるディーゼル排出粒子の環境負荷量に関する継続的な調査について (千葉県)
- 2) 群馬県における大気粉塵中金属元素の動態解析—流跡線解析と多変量解析を用いた寄与の推定— (群馬県)
- 3) 農作物に対するオゾンのクリティカルレベルの構築—ドース・レスポンス関係による解析— (埼玉県)
- 4) 神奈川県のアスベスト飛散防止対策 (神奈川県)
- 5) 東京都区部におけるヒートアイランドの実態と緑化による対策 (東京都)
- 6) 石炭火力発電所大気環境調査 (茨城県)
- 7) 神奈川県の大気環境におけるホルムアルデ

ヒドの濃度分析と発生源寄与の推定

(神奈川県)

- 8) 大気中アルデヒド測定における湿度影響について (横浜市)
- 9) 長野県における揮発性有機化合物の挙動 (長野県)
- 10) 川崎市における揮発性有機化合物測定の方法及び結果について (川崎市)
- 11) 大気中の酸化エチレンの分析方法について (栃木県)
- 12) 清水地区の悪臭について (静岡県)
- 13) 大気中窒素酸化物簡易サンプラーの検討 (千葉県)

### 4. 水質専門部会(静岡県環境衛生科学研究所)

平成18年10月12日(木)、静岡市(男女共同参画センター あざれあ)において、15機関24名の出席者により、以下の研究発表を行った。

- 1) 東京湾における微量有害物質の汚染実態 (東京都)
- 2) 豊近村における硝酸性窒素による地下水汚染について (長野県)
- 3) 平成17年度地下水概況調査における硝酸性窒素環境基準超過率低下に関する考察 (群馬県)
- 4) 茶園からの水質汚濁負荷の評価とその環境保全対策について (静岡県)
- 5) 酵母菌を利用した排水処理施設の運転状況 (千葉県)
- 6) 埋立地浸出水における農業のオゾン処理に及ぼす塩分の影響 (神奈川県)
- 7) 底生動物による河川水域環境評価に関する研究 (栃木県)
- 8) 鯨が池水質実態調査について (静岡市)
- 9) 人工衛星データによる赤潮などの監視について (横浜市)
- 10) 川崎多摩川河口干潟の紹介 (川崎市)
- 11) 霞ヶ浦におけるアオコの発生とその分布 (茨城県)
- 12) 佐鳴湖の水質と植物プランクトンの季節的変遷について (浜松市)
- 13) 埼玉県の工場排水クロスチェック事業における精度管理 (埼玉県)

■ 支部 だ よ り ■
--------------

- 14) 河川環境の評価方法に関するひとつの試み  
(山梨県)
- 15) 環境学習への取り組みについて (千葉市)

### 5. 騒音・振動専門部会(栃木県保健環境センター)

平成18年7月14日(金), 河内郡河内町(栃木県保健環境センター)において11機関20名の出席者

により, 以下の研究発表を行った。

- 1) 航空機騒音の戦略的騒音対策 (千葉県)
- 2) 厚木飛行場周辺の航空機騒音 (神奈川県)
- 3) 繁華街等のスピーカ音について (横浜市)
- 4) 環境基準超過に対する原因騒音の特定についての一事例 (長野県)
- 5) 環境基準と騒音規制法の課題 (東京都)

## 中国・四国支部のうごき

### 1. 全国環境研協議会中国・四国支部会議

平成18年度 全国環境研協議会中国四国支部会議が第60回地方衛生研究所全国協議会中国四国支部会議と同時に開催され11機関104名の参加がありました。以下その概要を報告します。

- ・期 日 平成18年5月18日, 19日
- ・場 所 鳥根県松江市 松江東急イン
- ・担当機関 鳥根県保健環境科学研究所

#### (1) 全体会議

##### (1) 事業報告

- ・全国環境研協議会活動状況  
理事会協議決定事項, その他
- ・中国四国支部の活動状況  
支部会議, 精度管理ブロック会議  
支部長表彰, 会計報告
- ・平成18年度事業計画

##### (2) 特別講演

演題「健康危機管理における地方衛生研究所とその連携」

講師 地方衛生研究所全国協議会長  
織 田 肇

#### (2) 部 会

次の各部会において, 提案議題の協議, 情報交換討議が行われた。

##### ① 所長部会

調査研究成果等の情報発信の強化, 研究所組織の現状と将来, 人材確保のための中長期計画, などについて

##### ② 庶務部会

外部からの研究受け入れ等の処理方法, 分析機器等の耐震対策, 電力消費量の削減, 分析機器等の入札, などについて

##### ③ 水質部会

水質汚濁防止法に基づく常時監視等の処理基準, 地下水の汚染事例とその対策, 海域の汚濁

負荷量と水質, などについて

##### ④ 廃棄物部会

廃棄物に関する共同研究の取組, 不適正処理廃棄物の組成分析, 危機管理体制の整備状況, などについて

##### ⑤ 大気部会

アスベスト対策の状況・分析法, 大気常時測定局数及び配置の検討などについて。また, 大気部会・廃棄物部会合同で事例発表が行われた。

#### (3) その他

全体会議に先立ち, 環境保全・公害防止に係る業務に顕著な業績を上げられた次の6名の方が表彰されました。

岡山県環境保健センター	宮崎 清
広島県保健環境センター	岡本 拓
山口県環境保健研究センター	弘中博史
徳島県保健環境センター	犬伏宏行
愛媛県立衛生環境研究所	高松公子
広島市衛生研究所	山本 修

### 2. 平成18年度環境測定分析統一精度管理

中国・四国支部ブロック会議

- ・期 日 平成18年9月6日
- ・場 所 香川県環境保健研究センター

環境省3名, 産業技術総合研究所1名, (財)日本環境衛生センター1名を含む27名の参加があり, 調査結果の報告, 特別講演及びディスカッションが行われた。

#### ・特別講演

「環境測定分析における土壌・底質中重金属類測定について」

#### ・ディスカッション

- ・統一精度管理調査について
- ・環境測定の精度管理について
- ・平成19年度開催は広島県が担当。